

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	志賀内 泰弘 先生 (心の達人)	所属	
実施校	知立市立知立中学校		
実施日	平成21年9月11日(金曜日)		
実施学年・学級	第1学年(239人)		
教科等名	道徳	単元・題材名	思いやりの心
授業の目標	温かい人間愛の精神を深め、どんなときでも互いに思いやりをもって接し、協力し合って生きていこうとする気持ちを高める。		
授業の実際	 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 達人の紹介を聞く。(教師)</li> <li>2 「ブチ紳士を探せ！」運動を始めた理由を聞く。(達人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心温まるいい話」のエピソードを交えて、この運動の趣旨を知る。</li> </ul> </li> <li>3 「心に響いた『一言』」を紹介する。(達人・教師) <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や教師に書いてもらった「心に響いた『一言』」を紹介し、達人とのやりとりの中からその言葉の意味や重みを知る。</li> </ul> </li> <li>4 「ギブ・アンド・ギブ」の精神や、「プラス言葉とマイナス言葉」について達人の話を聞く。(達人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ギブ・アンド・テイク」ではなく、見返りを求めない「ギブ・アンド・ギブ」が大切であることを知る。</li> <li>・「プラス言葉」がいっぱいの学級・学年・世の中を作っていくことを知る。</li> </ul> </li> <li>5 達人に質問する。(達人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜこのような活動をしようと思ったのか。</li> <li>・今までに何回くらい講演し、何人くらいの方が聞いたか。</li> </ul> </li> </ol>		
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人に優しくすることなどがすごくいいことだとわかりました。</li> <li>・「ありがとう」の反対は「当たり前」という話を聞いて、感謝の気持ちを持ちたいと思いました。</li> <li>・これからは人を傷つける言葉ではなく、人を勇気づける言葉を使っていきたいと思いました。</li> <li>・言葉は魔法のようだと思います。言葉は怖いものでもあり、優しいものでもあると知りました。</li> <li>・お金だけではなく、大切なものはたくさんあるんだと知りました。</li> </ul>		
教師の感想	<p>言葉は相手を傷つける力もあれば、相手を勇気づけたりする力もあると聞き、普段「マイナス言葉」を使っている生徒が、「プラス言葉」を使っていきたいという前向きな感想が多く見られ、授業のねらいを達成できたと思う。</p>		